

2020.8.22

紙つぶて

先日、わが子から改めて「なぜ九条改憲がいけないのか」と理由を聞かれた。小さいころから反戦教育はしっかりしてきたつもりだが、九条違反と思われることが次々と既成事実化され、戦争の記憶も薄れる中、友達などにどう説明したらよいかわからない、というのだ。

いろいろな答えを考えたが、最終的には「それが日本のブランドだから」と答えた。憲法九条に明記されている確固たる平和主義は、唯一の被爆国として、また侵略戦争の加害者として、貴重な学びの上に作られたものであるという意味で大変価値が高い。

確かに、なし崩し的な解釈や法改正が進んでし



平和というブランド

水島 広子

まっている現実がある。しかし、ブランドを守るというのは常なる努力を必要とするものであって、誇りを持って維持する価値があると私は信じている。そしてそのブランドイメージのおかげで、日本が国際的信頼を得てきたことも事実である。ブランドイメージを損なう粗悪品に対しては、ブランドの歴史と原点をきちんと確認して是正していく必要がある。

安倍晋三首相が、全国戦没者追悼式の式辞としては初めて「積極的平和主義」という言葉を使った今、これ以上の「なし崩し」は何としても避けたい。わかりやすく歴史と政治を語ることの重要性を、ひしひしと感じている。

(精神科医)